

令和6年度 学校経営全体構想図（椎葉村立椎葉小学校）

学校経営の基本方針

学習指導要領の趣旨を踏まえ、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養に努め、地域社会と連携・協働しながら、「生きる力」をそなえた心身ともに調和のとれた児童、2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成を目指す。また、全職員の知恵と力を結集し、椎葉小学校ならではの特色ある教育を展開し、「ふるさとに学び、心豊かで、たくましく生きる椎葉小の子ども」の育成に努める。

特に、本年度も、椎葉村に先達より引き継がれてきた「かてーり」（相互扶助）の精神や国や県が策定した教育振興基本計画のコンセプトである「日本社会に根ざしたウェルビーイング」の考え方を生かし、「自分や周りへの気付き」を大切にし、自己肯定感や利他性を高めながら、「地域とともににある学校づくり」に取り組み、児童が「喜んで通いたくなる学校」、保護者が「通わせたくなる学校」、教職員が「働きがいのある学校」を目指す。

学校教育目標

ふるさとに学び、心豊かで、たくましく生きる椎葉小の子どもの育成

めざす学校像

- 児童が「通いたくなる」学校
- 保護者（地域）が「通わせたくなる」学校
- 教職員が「働きがいのある」学校

めざす教師像

- 教えること(教育)にやりがいをもつ教師
- 絶えず主体的に学び続ける教師
- 子どもとともに学ぶ教師

めざす児童像

- 夢いっぱいの子ども（チャレンジ）
- 笑顔いっぱいの子ども（スマイル）
- 元気いっぱいの子ども（ガッツ）

指導・支援

児童の変容

令和6年度の努力事項

- ① 「夢いっぱい」：「学力及び学習意欲の向上」
基本的な学習態度や集中力、学習習慣の育成を図るとともに、学習環境を効果的に活用し、基礎的基本的な学習内容を定着させ、学力や学習意欲の向上を図る。

- ア 学習環境や教材を効果的に活用し、児童の学力や学習意欲の向上に努める。
イ 個人に応じた指導や協働的な学習の充実に努め、わかる・できる喜びを実感できる授業に努める。
ウ 授業を通して、基本的な学習態度と学習習慣の育成に努める。
エ 全教育活動を通して、夢や希望をもって努力し、意欲をもって学び続ける児童を育成する。
オ ふるさとの良さに気付き、ふるさとを愛する心の醸成を図る。
カ 家庭との連携を行い、発達の段階に応じた家庭学習支援の充実に努める。

- ② 「笑顔いっぱい」：「心の育成」

- 基本的な生活態度・生活習慣の育成及び、思いやりの心の育成や人権意識の高揚を図る。
ア 生徒指導体制の充実を図り、「椎葉っ子5つの約束」「椎葉小学校『よい子の一日』」に基づいた生活態度の育成に努める。
イ 全教育活動を通して、相手の立場を尊重する心の育成や人権意識の高揚に努める。
ウ 児童を理解し、一人一人の自主性と個性の伸長に努める。
エ 校内の安全管理に努めるとともに、安全指導の徹底を図り、危険予知能力と危険回避能力の育成に努める。
オ 特別な支援が必要な児童に対する支援の充実に努める。

- ③ 「元気いっぱい」：「体力の向上及び健康教育」

- 体力の向上と健康の保持増進を積極的に推進するとともに、健康や安全に対して関心の高い児童の育成を図る。
ア 体力向上プランをもとにした体育指導をはじめとして、体育に関する行事等を通して、体力の向上に努める。
イ 家庭と連携を図りながら、健康教育を推進し、心身ともに健康の保持増進に努める。
ウ 食育プランをもとに、望ましい食生活の習慣化を図る。

研究主題及び副題【仮】

次代へ向けて学び続ける子どもの育成
「ひなたの学び」を活かした授業づくりをとおして

授業改善

家庭や地域と連携・協働した教育活動の展開

（学校運営協議会との連携、地域に開かれた学校づくり）

